

稿 KŌCHŪ 虫

青森県における

オオヒョウタンゴミムシの採集記録

阿部 東

オオヒョウタンゴミムシ *Scarites sulcatus* OLIVIER の本州における分布北限は、従来茨城県下とされていたが、筆者は本州の北端に近い青森県で本種を採集しているので、新たな北限記録として報告しておきたい。

1 ex., 青森県西津軽郡深浦町, 19. Ⅷ. 1954

海岸の砂浜に落ちていた穴だらけのゴム長靴の砂の中から採集したもので、足を縮めて死んだふりを装っていたが、手の中で転すとゆっくり足を動かした。採集地は秋田県に近く日本海につき出した部分で、本県では最も暖地性の生物が棲息する地域である。

(〒037 五所川原市松島町 2-91-3)

マメクワガタ沖縄本島の記録

小笠原 隆

マメクワガタ *Figulus punctatus* WATERHOUSE は、従来、本州(紀伊半島)・四国・九州・対馬・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・屋久島・トカラ中之島・奄美大島および台湾から記録されていたが、筆者は1976年5月に沖縄本島にて採集しているので、同島初記録として報告しておく。

1 ex., 沖縄本島与那覇岳, 21. Ⅴ. 1976

伐採枝の叩き網により得られた。

末尾ながら、本種を同定して下さり、分布域をご教示下さった市川敏之氏に感謝の意を表したい。

(〒156 世田谷区上北沢 5-8-2 第2荘)

コクワガタの土中越冬記録について

田尾 美野留

秋～冬にかけて羽化したクワガタムシが、材中で成虫越冬するため、各種のクワガタムシ新成虫が冬期、材中の蛹室内で見つかることはよく知られている。筆者は冬期採集において、土中で越冬していたコクワガタ *Macrodercas rectus* MOTSCHULSKY を得た。

クワガタムシの土中越冬例は聞かないので、報告しておきたい。

1 ♂, 茨城県那珂湊市下組, 31. Ⅹ. 1975

1 ♀, 茨城県取手市戸田井〜城根, 22. Ⅱ. 1976

♂の個体については崖の上部より落下してきたため、越冬状態については不明であるが、♀の個体は崖の赤土をはがしたところ、割れ目に沿って斜め下方を向き、はさみこまれるような形で越冬していた。2個体共夏に活動したものらしく、汚損した個体であった。

末筆ながら、発表をお勧めいただいた市川敏之氏に感謝したい。

(〒230 横浜市鶴見区平安町1-38-10)

カラカネチビナカボソタマムシの北限記録

大桃 定洋

カラカネチビナカボソタマムシ *Nalanda ohbayashi* Y. KUROSAWA を福島県の東北端、山形・宮城両県境近くで採集した。恐らく北限の記録と思われる。

1 ex., 福島県福島市茂庭,

4. Ⅶ. 1976

土場周辺のピーティングで得たもので、付近には食樹で



あるオニグルミが多かった。この他にも同県南会津湯の花にて1 ex. (21, Ⅶ, 1974)の本種を採集している。

最後に、同定と種々のご教示をいただいた田添京二先生に深謝いたします。

(〒167 杉並区西荻窪北 3-22-15 西荻コーポラス 202)

福島県いわき市のタマムシ5種

大桃 定洋

筆者は1976年、福島県いわき市において、興味深いと思われる次の5種のタマムシを採集したので報告する。

1. クロホシタマムシ

Ovalisia virgata MOTSCHULSKY

2 exs., いわき市小川郷, 20. Ⅶ. 1976

コナラの材に飛来した。同地は海拔50mで、海岸から数km離れた平野部の最奥とはいうものの、従来山間部で採集されている本種がこのような海岸に近い所で得られたことは興味深い。

2. アオタマムシ *Eurythyrea tenuistriata* LEWIS

1 ♀, いわき市江田, 4. Ⅷ. 1976

土場のアカマツ材に飛来した。従来の北限の記録は日光付近とのこと。(写真左) 同地は、イワキアオタマムシ *E. obenbergeri* の記録された福島県檜葉町木戸から山一つ南へ越した所で、イワキアオタマとの関連において、今後詳しい調査が必要であろう。